

平成28年度第3回人間文化研究機構役員会議事概要

- 日 時 平成28年5月16日(月) 14:00～15:03
- 場 所 機構長室
- 出席者 機構長、平川理事、小長谷理事、佐藤理事、榎原理事
- 陪席者 小泉監事、二ノ宮監事、大崎特別顧問
- 事務担当者 事務局長、総務課長、企画課長、財務課長、施設課長、監査室長

○ 議 題

【審議事項】

- (1) 平成28年度第2回議事概要(案)について
一部修正の上、原案のとおり了承された。
- (2) 歴史資料文化遺産保全検討チームの設置について
平川理事から標記について説明があり、歴史資料文化遺産保全検討チーム(仮称)を設置することについて了承された。
なお、チームの組織等は機構長室において検討を行い、内容を詰めた上で改めて役員会に諮ることになった。
- (3) 平成28年度監事監査計画について
監査室長から資料3-2に基づき、人間文化研究機構監事監査要綱の一部改正について報告を行った後、小泉監事から資料3-1に基づき平成28年度監事監査計画書案について説明があり、原案のとおり了承された。
- (4) 国立歴史民俗博物館テニユアトラック制の実施について
事務局から標記について説明があり、審議の結果、了承された。
ただし、実施に際し「広く公募する際に歴博の研究分野(例えば歴史史料や民俗など)を検索しやすくするよう、タイトルや分野の表記を工夫すること」「中間評価(中間報告書)の実施などについて、公募要領等で応募者に対して明確にすること」を附帯意見として歴博に伝えることとした。

【報告事項】

- (1) 機構の特例夏季休業特別休暇について
事務局から標記について報告があった。
なお、根拠となる規程での表記を「特例夏季休業等特別休暇」と改正しているため、今後は規程に則した標記とすることとした。
- (2) その他
機構長から、審議事項(3)に関連し、監事と機構長及び理事のディスカッションについては、随時対応したいのでお知らせ願いたいとの発言があった。

以 上